

バイオビジネス経営学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 渋谷往男

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本授業のねらいは、近年新たな学問分野として形成されつつある「復興農学」について、全般的な動向を示しつつ、担当教員らが取り組んでいる東日本大震災からの農業復興の取り組みを紹介する。これにより、細分化した学問分野に拘泥せず「地域農業」という実態の問題解決アプローチを身につけることを目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

復興農学 東日本大震災 農業復興支援 農業法人
水田農業 規模拡大

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	・授業全体のガイダンス	◎受講にあたっては事前に配付する資料を事前に読み込んでおくこと。予習時間は2時間程度と想定している。 ◎講義の場でプリントを配布し、キーワードを参考に復習をすること。約1時間と想定している。
2	東日本大震災の概要と復興過程 (2週)	・東日本大震災の被災状況と復興過程について、社会全体と農業の両面から振り返る	
4	農大東日本プロジェクトの歩み (2週)	・東京農大東日本プロジェクトの実施過程を解説する	
6	被災農家の営農再開意向 (2週)	・東日本プロジェクトの初期に相馬市で実施した農家ヒアリング調査について解説する	
8	農地動向についてのアンケート調査 (2週)	・相馬市飯豊地区で実施した詳細な営農再開意向アンケート調査について解説する	
10	企業による農業復興支援 (3週)	・東日本大震災の農業復興で企業が果たした役割から、今後の企業と農業との関係を考察する	
13	復興農学の全体像 (2週)	・わが国で形成されつつある復興農学の全体像を示し、新たな学問分野の重要性と魅力を解説する	
15	総括	・全般的な復習とレポート作成	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

「東日本大震災からの真の農業復興への挑戦— 東京農業大学と相馬市の連携 —」/東京農業大学・相馬市編 /ぎょうせい/2014

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業態度・議論への参加状況 50%、期末レポート 50%

◆オフィスアワー

毎週月曜日の午後、研究室で質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

授業中に意見を聞くアクティブラーニングを取り入れるので、積極的な姿勢が求められる。